

2020 やまがた県政の動き



山 形 県

表紙写真

「山形県立図書館リニューアルオープン」(2020.2.1 左上)

「山形県初のご当地サーモン『ニジサクラ』お披露目会」(2020.2.12 右上)

「山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部 第8回本部員会議」(2020.4.16 左中)

「山形県総合文化芸術館(やまぎん県民ホール)開館」(2020.5.13 右中)

「令和2年7月豪雨の被災状況視察(村山市)」(2020.7.31 左下)

「最上小国川流水型ダム竣工式」(2020.8.3 右下)

2020 山形県の動き 出来事一覧

1月

- 9日 村山地域の6市6町(山形市、寒河江市、上山市、村山市、天童市、東根市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町)は、中核市と周辺自治体が協力して行政サービスを提供する「山形連携中枢都市圏」を形成するため、地方自治法に基づく連携協定を締結 山形市内で市長らが締結式を開催
- 11日 吉村知事は、「日本ベトナム文化経済観光交流事業」の訪問団の一員として、ベトナム社会主義共和国ダナン市を訪問 フック首相との会談等を通して政府関係者との人脈の形成を図るとともに、現地進出県内企業との意見交換や観光交流に向けた本県のPRなど実施(～1/14)
- 15日 農林水産省が平成30年農業産出額を発表 本県は2,480億円(前年比1.6%増)と4年連続増となり、全国順位は第12位(前年14位)、東北第3位(前年3位)
- 16日 吉村知事は、定例記者会見で山形県商工業振興資金融資制度(地域経済変動対策資金)の対象となる経済変動事象に「記録的な暖冬・少雪」を指定したと発表 県が暖冬や少雪を理由に金融支援するのは初
- 17日 「山形県酒田港ポートセミナー in 東京」を開催 酒田港の一層の利用促進を図るため、首都圏の企業等を対象に、酒田港の紹介、海運貨物取扱業者プレゼンテーション、事例発表等を実施
- 21日 法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都)で、県と法政大学が「学生Uターン就職促進に関する協定」を締結 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者のUターン就職などの促進を図るもの
- 22日 第6回「山の日」全国大会実行委員会設立総会を山形市内で開催 吉村知事、佐藤山形市長、横戸上山市長が出席し、令和3年8月の開催に向けて実行委員会を設立 (※令和2年6月、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を1年延期)
- 24日 吉村知事及び県内12市町村の関係者が国土交通省を訪れ、御法川副大臣に対し、高速道路、地域高規格道路の整備推進、一般国道112号「山形中山道路」の新規事業化について要望書を提出
- 24日 新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という。)に係る県民の皆様の不安の払拭に努めるため、県庁及び県内各保健所に「県民相談窓口」を設置
- 24日 首都圏における山形県産品の認知度向上と販路拡大を目指し、渋谷スクランブルスクエア(東京都渋谷区)を会場に「上質ないいもの山形フェア」を開催(～1/26)
- 27日 **百貨店「大沼」(山形市七日町)が、山形地裁に自己破産を申請 日本百貨店協会に加盟する百貨店が無くなったのは全国で本県が初めて**
- 28日 吉村知事が定例記者会見で、百貨店「大沼」の閉店に伴う県の支援策を発表 「株式会社大沼に関する特別相談窓口」の設置 山形県商工業振興資金融資制度(経営安定資金第2号)による資金繰りを支援等を実施

- 29日 新型コロナが中国を中心に増加している状況を踏まえ、県は副知事をトップとする「新型コロナウイルス感染症に係る対策会議」を設置
- 30日 吉村知事が「とうほく・北海道 新技術・新工法展示商談会」(愛知県豊田市)に参加して、本県のものづくり企業のPRを実施 北海道・東北8道県の知事とともに、トヨタ自動車株式会社役員と懇談 本県からは、14社と山形大学が出展
- 31日 山形労働局、山形県及び山形市が、百貨店「大沼」の元従業員の再就職支援に向けて「大沼緊急雇用対策本部会議」を開催
- 31日 インドネシア共和国外交官及びパプア州行政官訪問団が知事を表敬訪問
- 31日 最上川ふるさと総合公園(寒河江市)で、県、寒河江市、西村山郡4町が連携して「第5回やまがた雪フェスティバル」を開催(～2/2) 期間中の来場者は22万5千人

2月

- 1日 **大規模改修を進めてきた県立図書館がリニューアルオープン 広さは従前の1.4倍となる4,587㎡、開架冊数は4万冊多い22万冊に 同日、吉村知事、金澤県議会議長らが出席しオープニングセレモニーを開催**
- 1日 北村誠吾内閣府特命大臣(地方創生)が視察のため来県 酒田市の啓翁桜の生産現場、鶴岡市のサイエンスパークを視察し、県工業技術センター(山形市)で吉村知事と意見交換
- 4日 舟形町長に現職の森富広氏が当選し再選
- 5日 山形県観光審議会を県庁で開催 「第2次おもてなし山形県観光計画～beyond2020～」を知事に答申
- 5日 庄内-羽田便の2019年の年間利用者数が39万4020人となり、1991年の庄内空港開港以来、過去最高となったことを発表
- 6日 山形労働局、山形県及び山形市等は、百貨店「大沼」の元従業員の再就職支援に向けて、山形テルサ(山形市)に「株式会社大沼関連再就職等支援本部」を設置し、窓口で相談受付を開始 当面の生活安定を図るための生活資金の無利子貸付制度として「山形県暮らし安心資金」を創設し、2月7日から受付を開始
- 6日 奥羽・羽越両新幹線の沿線6県などで構成する奥羽・羽越関連鉄道4同盟会は、国土交通省に対し、両新幹線の整備に向けた調査実施や奥羽・羽越両本線の高速化、安定輸送などを求める要望書を提出
- 7日 県と住友生命保険相互会社は、健康づくりに関することなど6項目を定めた「やまがた創生に関する包括連携協定」を締結 吉村知事と同社高田執行役常務が締結式
- 7日 **国内で新型コロナが拡大している状況を受け、県は知事を本部長とする「山形県新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置**
- 7日 科学技術の分野で優れた研究成果を挙げた若手研究者を表彰する山形県科学技術奨励賞の授与式を県庁で開催 山形県工業技術センターの阿部泰専門研究員、慶應義塾大学先端生命科学研究所の河野暢明特任講師、山形県農業総合研究センターの後藤元専門研究員が受賞

- 10日 県庁で「山形県新型コロナウイルス感染症対策本部」第1回本部員会議(以下、「新型コロナ 本部員会議」という。)を開催 国内外での発生状況等について意見交換 県内5箇所の保健所に感染疑いのある人の相談窓口として「帰国者・接触者相談センター」を設置
- 10日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 「第4次山形県総合発展計画(長期構想)」を知事に答申
- 11日 大江町長に松田清隆氏が初当選
- 12日 ホテルメトロポリタン(山形市)で、県魚サクラマスとニジマスを交配して、県が開発した「ご当地サーモン」のお披露目を開催 吉村知事が名称を「ニジサクラ」と発表
- 13日 令和2年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は前年度比0.04%増の6,134億円
- 13日 令和元年酒田港の取扱貨物量を公表 国際コンテナ貨物量は、輸出16,823TEU(前年比6.2%増)、輸入8,506TEU(前年比10.2%減)、輸出入合計25,329TEU(前年比0.03%増)となり、過去最高であった平成29年を下回ったものの、歴代2位の貨物量を記録
- 14日 国土交通省が令和2年3月より適用する公共工事設計労務単価を発表 本県の主要12職種平均額は21,642円となり、昨年比659円増で9年連続の上昇
- 18日 千葉商科大学市川キャンパス(千葉県)で、県と千葉商科大学との「学生Uターン就職促進に関する協定」を締結 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者のUターン就職などの促進を図るもの
- 17日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で「山形『つや姫』『雪若丸』ブランド化戦略推進本部会議」を開催 「つや姫」の目標価格帯を全国1位に設定、「雪若丸」の認知度向上などブランド化の推進について協議
- 19日 県議会2月定例会が開会(～3/18)
- 21日 「山形県民CO2削減価値創出事業」におけるCO2削減価値の売却先となる、カルネコ(東京都千代田区)、アキレス(東京都新宿区)、新電元工業(東京都千代田区)、チノー(東京都板橋区)、沖電気工業(東京都港区)、東亜ディーケーケー(東京都新宿区)及びリンベル(東京都中央区)との売買契約締結式を県庁で開催 県民による温室効果ガス排出削減量を集約し、政府のJ-クレジット制度を活用して都市圏の企業等へ販売し、得られる収益を環境保全事業に活用
- 25日 県庁で新型コロナ第2回本部員会議を開催 国内外での発生状況等について意見交換 公立学校に係る対応等について協議
- 25日 吉村知事は、定例記者会見で山形県商工業振興資金融資制度(地域経済変動対策資金)の対象となる経済変動事象に「新型コロナウイルス」を指定したと発表(その後、特に売上減少が著しい中小企業者を対象とした10年間の無利子融資制度を創設し、3月16日から制度を開始)
- 26日 (財)日本穀物検定協会が実施した平成30年産米の食味ランキングで、県産米の「つや姫」がデビュー以来10年連続、「雪若丸」が2年連続で最高の「特A」評価
- 26日 サンジェイ・クマール・バルマ駐日インド大使が知事を表敬訪問

- 26日 県庁で令和元年度山形県スポーツ賞授賞式を開催 大賞を受賞した障がい者スポーツ(水泳)の東海林大選手など 91 人、5団体を表彰 吉村知事が代表者に山形県スポーツ賞を授与
- 28日 **2月27日に安倍総理大臣が新型コロナの感染拡大防止のため全国の小中学校、高等学校等に対し臨時休校を要請したことを受けて、県立学校は3月2日から春休みまで臨時休校とすることを決定 県立学校の対応について知事及び教育長が臨時記者会見を開催 市町村教育委員会及び私立学校にもそれぞれ同様の措置を要請**
- 29日 「山形県こども館」が閉館

3月

- 1日 「新型コロナウイルスに係る学校臨時休業に伴う緊急経済対応会議」を、知事を議長として3月1日に設置 同2日及び9日に会議を開催
- 2日 令和2年度以降の本県産業が目指す姿や産業の振興を図るための施策の展開方向を示した次期産業振興ビジョン(令和2～6年度)の策定に関し、山形県産業構造審議会会長が知事へ答申
- 3日 県庁で令和元年度山形県商工観光功労者表彰の表彰式を開催 商工観光事業に精励し、商工業の振興及び地域経済の活性化に貢献した方を表彰し、その功績を顕彰するもので、元年度は5名が受賞
- 3日 県庁で、県と神奈川工科大学との「学生 UI ターン就職促進に関する協定」締結式を開催 両者が連携して県内企業の情報などを学生に提供し、県出身者のUターン就職などの促進を図るもの
- 6日 県庁で、令和2年産の『つや姫』生産者認定証及び『雪若丸』生産組織登録証交付式を開催 吉村知事が各地域の生産者代表4名に認定証及び登録証が交付併せて、令和元年度の「米づくりプロジェクト食味コンクール表彰式」も開催し、「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の各部門で知事賞を受賞した2個人1団体に、賞状と記念品を授与
- 6日 新型コロナウイルス感染症に係る県・市町村等危機管理連絡会議を県庁で開催 県、35市町村、県医師会、県社会福祉協議会など約80人が出席 県内で感染が確認された場合の対応等について確認
- 9日 山形県青少年健全育成審議会を県庁で開催 子どもや若者の育成支援計画「県子ども・若者ビジョン」(令和2～6年度)の策定に関し、会長が知事へ答申
- 11日 東日本大震災発生から9年を迎え、県庁1階ロビーに「復興へのメッセージボード」を設置 文翔館(山形市)で、復興への願いを込めたキャンドルを吉村知事等が点灯
- 12日 県は、新型コロナの影響で需要が減少する花きの消費回復を目的に、「花を飾ろう!花を贈ろう!運動」を開始 県庁ロビーに県産切り花を使ったフラワーアレンジメントを設置したほか、ホームページや SNS で情報発信

- 17日 県議会が、知事に対して以下の3つの政策提言を実施 ①健やかな子どもの成長と若者の活躍に向けた対策の推進、②県民のいのちと暮らしを守る防災減災・県土強靱化対策の推進、③交流人口の拡大と人材の育成・確保を通じた産業振興対策の推進
- 19日 県教育委員会の3月定例会において、米沢工業高校と米沢商業高校を統合し、米沢産業高校(仮称)の開校を柱とした「東南置賜地区の県立高校再編整備計画」を可決
- 23日 県庁で新型コロナ第3回本部員会議を開催 休校している県立学校について、春休み中及び新学期に向けた対応方針を決定 市町村教育委員会にも同様の対応を要請 「帰国者・接触者相談センター」を「新型コロナ受診相談センター」に改称
- 24日 県庁で令和元年度山形県卓越技能者等表彰式及び若者技能振興奨励賞授与式を開催 優秀な技能者や職業能力開発に功労のあった卓越技能者等 20名、6団体及び高等学校在学中に技能検定 2 級に合格し、卒業後県内事業所に就職した8名に対して知事から表彰状を授与
- 25日 中山公園野球場(中山町)の施設命名権について、現命名権者である株式会社荘内銀行及び日新製菓株式会社との間で契約の更新(令和2~4年度)に合意し、協定締結式を県庁で開催 施設の名称は「荘内銀行・日新製菓スタジアムやまがた」(略称: 荘銀・日新スタジアム)
- 27日 県庁で新型コロナ第4回本部員会議を開催し、3月 29 日に予定していた県総合文化芸術館「やまぎん県民ホール」の開館延期を発表
- 27日 「山形県緊急地域経済対策協議会」(構成員: 県、市町村、県商工会連合会、県商工会議所連合会)の初会合を県庁で開催 県内での消費喚起キャンペーンの展開について意見交換
- 28日 吉村知事は、全国的な新型コロナの感染拡大の状況を受けて、「当面の間、県外との往来は極力控えてほしい」とのメッセージを発表
- 30日 県立山形中央高校スケート部の監督として、同校を多くの全国大会優勝者を輩出する強豪校に育て上げ、県スケート連盟強化部長として県の競技力向上及びスポーツの振興に多大な貢献をされた椿央(つばきひろし)氏に「山形県特別功労賞」を贈呈
- 31日 山形県内で初めてとなる新型コロナの感染者を米沢市で確認 県は、同日、「山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部」第5回本部員会議(以下、「新型コロナ 本部員会議」という。)を開催し対応を確認するとともに、吉村知事が記者会見で発表

4 月

- 1日 山形県内で2例目となる新型コロナの感染者を上山市で確認 吉村知事が記者会見で発表
- 1日 県内への移住・定住推進に向けたオール山形の推進組織として、一般社団法人「ふるさと山形移住・定住推進センター」が設立 県、市町村、県経営者協会、県銀行協会など 55 団体で構成

- 2日 山形県内で3例目となる新型コロナの感染者を新庄市で確認 県は、同日、新型コロナ第6回本部員会議を開催し対応を確認するとともに、吉村知事が記者会見で発表
- 4日 山形県内で4～8例目となる新型コロナの感染者5名を新庄市で確認 吉村知事が記者会見で発表（以降、4月4日～20日まで連続して感染者を確認）
- 7日 政府は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を首都圏など7都府県に初めて発令 これを受けて、吉村知事は定例会見で、県内でもできる限り不要不急の外出を控えるよう呼び掛け
- 8日 県は、産業、経済、福祉、医療、PTA など幅広い分野の代表者等が参加し、新型コロナに関する連絡協議会を県庁で開催し意見交換
- 9日 酒田港国際定期コンテナ航路が2便増便となり、週4便運航となる旨を発表 中国の青島・連雲港に寄港する航路は初となり、4月11日に第1便が寄港
- 11日 県庁で新型コロナ第7回本部員会議を開催 国内・県内の感染者の発生状況を踏まえた県民への呼びかけ（県外との往来、特に7都府県との往来自粛、不要不急の外出自粛など）の決定 県立学校における感染防止対策及び体制整備の徹底（チェックリストによる点検）、県内学校の始業延期等の状況の報告 「県民総活躍で愛のマスク運動」実施の決定
- 12日 県教育委員会は、新型コロナ感染防止のため、県立学校を5月10日まで臨時休業とすることを決定 市町村教育委員会にも同様の対応を要請
- 14日 金山町長に佐藤英司氏が無投票で初当選
- 14日 川西町長に原田俊二氏が無投票で5選
- 15日 **第1回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を開催 県医師会長ほか県内の医療専門家が参加し、県境部における検温や緊急事態宣言の発出要件等について意見交換**
- 16日 日本一さくらんぼ祭り実行委員会は、令和2年の「日本一さくらんぼ祭り」の中止を決定
- 16日 **政府は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象を本県を含む全都道府県に拡大(4/16～5/6) これを受けて、県庁で新型コロナ第8回本部員会議を開催 県域を越えて県内へ移動する方々への啓発活動及び検温の実施(試行を含む4/18～5/10)の決定 企業等に対する休業要請(4/25～5/10)と「緊急経営改善支援金」創設の決定**
- 18日 **新型コロナへの対策として、県域を越えて県内へ移動する方々への啓発活動及び検温を開始(試行を含む4/18～5/10、5/13) 高速道路PA等、山形新幹線停車駅、空港、都市間バスが対象**
- 21日 令和2年4月1日現在における県内保育所等利用待機児童が、0人(前年同数)となったことを発表 待機児童0人となったのは4年ぶり
- 21日 「新型コロナからみんなを守る県民リレー」「今、していること、できること」の発信事業を開始 吉村知事を皮切りに、感染拡大防止に向けた県民一人ひとりの思いと行動をメッセージにして発信する県民リレーを展開
- 23日 新型コロナウイルス感染症患者受入調整本部を設置 阿彦医療統括監及び森野県立中央病院副院長のほか、感染症指定医療機関院長、各保健所長、山形大学医学部附属病院長などで構成

- 22日 令和2年度4月補正予算案を県議会に内示 新型コロナ対応のため感染拡大防止対策や経済対策のための一般会計補正予算額 313 億 7,700 万円を計上
- 24日 吉村知事が、東北と新潟の各県知事及び仙台・新潟市長との連名で、「東北・新潟共同宣言」を発表 大型連休中の都道府県をまたいだ不要不急の移動の自粛等を要請
- 24日 県庁で新型コロナ第9回本部員会議を開催 県域を越えて県内へ移動する方々への啓発活動及び検温の本格実施(4/25～5/10)の決定 スーパー等における感染拡大防止の協力要請、医療従事者に対する偏見・差別防止の協力要請の決定
- 25日 **新型コロナへの対策として、企業等に対する休業要請の期間が開始(4/25～5/10) 休業要請に協力する事業者に対し、一律 10 万円の緊急経営改善支援金を支給**
- 28日 山形県花笠協議会(会長:山形商工会議所会頭)は、令和2年の「山形花笠まつり」の中止を決定 中止は昭和 38 年の開始以来初めて
- 29日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 県境検温等の水際対策の重要性や、事業者や大学生への支援について発言
- 30日 県議会令和2年4月臨時会が開催

5 月

- 4日 政府は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく全国の緊急事態宣言の期間を5月31日まで延長
- 7日 第2回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を開催 学校の再開、企業等への営業自粛(休業)要請等について意見交換
- 8日 県庁で新型コロナ第10回本部員会議を開催 5月11日以降の本県の対応として、県立学校の段階的な再開 市町村教育委員会にも同様の対応を要請 企業等に対する営業自粛(休業)等の要請の解除(一部5/14まで延長)及び徹底した感染防止対策の取組みの依頼 県域を越えて県内へ移動する方々への啓発活動及び検温の取組み(5/13の追加実施) 「イベント等の開催に関する基本方針」等について決定 臨時の知事会見を開催し、東北と新潟の各県知事及び仙台・新潟市長との連名で、「東北・新潟共同メッセージ」を発表し、引き続き都道府県をまたいだ不要不急の移動の自粛等を要請
- 12日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 医療機関の減収に対する支援、妊婦や子育て中の女性の働く環境づくり等について発言
- 13日 県庁で「新型コロナ克服・創造山形県民会議」の第1回会合を開催 県選出国會議員、県内の商工、観光、農業、医療、福祉など各団体のトップが参加し、オール山形で感染拡大防止及び経済再生を推進していくことを確認
- 13日 県は、新型コロナの治療にあたる医療従事者などを支援するため「山形県新型コロナ対策応援金」の募集を開始
- 13日 **やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)が開館 吉村知事、金澤県議会議長等が参加し、開館セレモニーを開催**

- 14日 政府は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言について、本県を含む39県の解除を決定 これを受けて、県庁で新型コロナ第11回本部員会議を開催 5月15日以降の本県の対応として、企業等への営業自粛(休業)要請の終了 県をまたいだ移動の自粛要請の継続の決定 5月25日から県立学校において本格的な授業を再開することを決定 市町村教育委員会にも同様の対応等を要請
- 14日 新型コロナに関する県内各地域の現状や課題を県民の方からお聞きする「地域創生オンライン知事室」を置賜地域を対象に初開催 吉村知事が県庁で、置賜地域の5名の方とWeb会議で意見交換 最上(5/15)、庄内(5/22)、村山(6/10)の各地域で順次開催
- 15日 県内在住者が県内の観光施設、旅館・ホテルで利用できる「県民県内お出かけキャンペーン」「県民泊まって応援キャンペーン」の申し込み受付を開始
- 18日 県議会「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」を初開催 正副議長を除く全議員で構成し、新型コロナウイルス感染症の影響と対策に関する調査審議するため設置
- 19日 令和2年度第1回市町村長会議を初のWeb会議で開催 新型コロナ対策や経済対策等の諸課題について意見交換
- 20日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 臨時交付金の増額、果実や主食用米の価格安定対策、観光産業を支援する交付金制度の創設等について発言
- 20日 「つや姫」「雪若丸」のPRのため、県農業総合研究センター(山形市)において、吉村知事、つや姫レディ等が田植えを実施
- 21日 山形県、山形県医師会、山形大学医学部の三者は、緊密な相互連携と協働による活動を推進し、新型コロナ対策に関する様々な課題に対応していくため、新型コロナウイルス感染症対策に関する連携協定を締結
- 25日 第3回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を開催 県をまたいだ移動の自粛、イベント開催方針、感染症注意・警戒レベル等について意見交換 なお、同日、政府は新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言について、全ての県で解除決定
- 26日 県庁で新型コロナ第12回本部員会議を開催 6月以降県をまたいだ移動自粛の解除、特定警戒都道府県とされていた5都道県との間の不要不急の移動は6月18日まで慎重にすることについて決定 新型コロナウイルス感染症注意・警戒レベルとレベル移行の目安等を決定 新たなイベント等の開催に関する基本方針について決定
- 29日 県さくらんぼ作柄調査委員会は、県内主要産地48園地における令和2年産のさくらんぼの作柄調査結果を発表 収穫量の予想は13,200t、平年比94%となり、作柄は「やや少ない」の見込み

6月

- 2日 吉村知事が、定例記者会見で「山形県『新・生活様式』宣言」を発表 市町村や事業者、県民と一体となって、感染拡大防止と経済活動の両立を推進

- 2日 令和2年の第5回「山の日」全国大会(大分県)が新型コロナ拡大防止を考慮し1年延期されることに伴い、令和3年に本県で開催予定だった第6回「山の日」全国大会の1年延期を発表(令和4年8月開催)
- 3日 令和元年外国人旅行者県内受入実績調査の結果(速報値)を公表 本県の受入延人数は、370,588人(前年比146.9%、118,299人増)と7年連続で前年実績を上回り過去最高を更新
- 4日 全国知事会議に吉村知事がWeb会議で参加 医療機関の減収補填や地方移住の推進等について発言
- 5日 令和元年の本県の合計特殊出生率は1.40となり、前年比0.08ポイント下降 全国順位は前年を下回る31位(9月17日確定数による全国順位は32位)
- 6日 やまぎん県民ホール(山形県総合文化芸術館)内の飲食・物販店舗「山形魅力発信モール」がオープン
- 9日 令和2年度6月補正予算について発表 新型コロナ感染防止と地域経済の回復を両立させる予算として、感染症対策の強化や新しい生活様式の定着、雇用の維持・経営の安定、経済活性化、学生・困窮者への支援等に係る経費について一般会計補正予算額346億7,700万円を計上
- 12日 第2回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」をWeb会議で開催 新しい生活様式の定着と地域の経済活動の回復に向けて協議
- 12日 **県が整備を進めてきた県工業技術センター IoTイノベーションセンターがオープン IoT関連製品の開発をワンストップで支援する電磁波測定室、高精度材料分析室、デジタル設計支援室を備える 同日、吉村知事、小松商工労働観光常任委員長などが参加しオープニングセレモニーを開催**
- 15日 吉村知事が、佐藤克英国土交通省東北地方整備局長と県庁で懇談 防災・減災や高速道路の整備促進、県内空港と酒田港の機能強化等への協力・支援を要請
- 16日 県議会6月定例会が開会(～7/3)
- 29日 令和2年度6月補正予算案について県議会に追加提案 新型コロナへの対応従事者への慰労金給付等に係る経費について一般会計総額223億5,200万円を計上
- 30日 主要地方道山形山辺線「吉野宿工区」のバイパスが開通(延長2.1km)
- 30日 令和元年度の県内の児童虐待認定件数は、過去最多となる847件(対前年度比335件増) 虐待者は実母が最多で全体の半数近くを占め、種類別では心理的虐待が最多

7月

- 1日 「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の一部が施行され、自転車利用者等における自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化
- 3日 令和2年度6月補正予算案について県議会に追加提案 新型コロナの影響がでている県内の民間医療機関に対する支援金の給付に係る経費について一般会計総額4億3,400万円
- 4日 新型コロナの県内第71例目となる事例が2か月ぶりに確認

- 5日 新型コロナが東京を中心に拡大している状況を受け、山形空港・庄内空港において、サーモグラフィーによる検温を開始
- 7日 山形市のやまぎん県民ホール(県総合文化芸術館)で、開館後初となる一般客を入れての公演を開催 新型コロナ感染防止の観点から、収容人数を約300人に制限
- 8日 山形市が、県内の医療機関に入院していた新型コロナの感染者1名の死亡について発表 新型コロナ感染者の死亡は県内初
- 8日 第4回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を県庁で開催 注意・警戒レベルの見直し等について意見交換
- 8日 山形県と宮城県は、「新型コロナを共に乗り越える宮城・山形共同宣言」に署名 山形県庁において、吉村山形県知事と村井宮城県知事が署名式に参加 感染拡大防止及び地域経済回復の両立に向けて連携
- 10日 県内における観光消費喚起策の第2弾として、「県民泊まって元気キャンペーン」「『バス・タク旅』やまがた巡り事業」を開始
- 10日 第3回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を県庁で開催 注意・警戒レベルの見直し等について意見交換
- 10日 **県農業総合研究センター園芸農業研究所(寒河江市)の開所式を開催し、吉村知事、金澤県議会議長等が参加 旧施設の老朽化に伴い、平成29年度から3年をかけて、本館、研究施設、栽培施設、研修棟などを整備 本県の園芸農業における新品種開発、省力化技術等の研究開発機能を強化**
- 11日 モンテディオ山形において、新型コロナウイルスの影響による公式戦中断後、初となる観客を入れたホームゲームを山形県冠マッチ「山形県応援マッチ ～今こそスポーツの力を～」として開催
- 14日 合同企業説明会「新型コロナ克服！ワークフェス in 山形・庄内」を山形市(14日)、三川町(16日)で開催 新型コロナの影響により学生の就職活動が停滞する中、県内学生の就活を支援するため初開催
- 16日 県は、新型コロナに関する知事と県内農業団体との意見交換会を実施 吉村知事とJA関係者等12名が出席
- 18日 県は、新型コロナと闘う医療従事者等の方々に感謝の気持ちを表すため、「ブルーライトアップ」を実施 文翔館、やまぎん県民ホール、荘銀タクト鶴岡の3施設で8月2日まで
- 19日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 雇用調整助成金の緊急対応期間の延長等について発言
- 20日 県庁で、令和2年度献血運動推進協力団体等厚生労働大臣表彰及び感謝状伝達式並びに献血功労団体等知事感謝状の贈呈式を開催
- 21日 小国町長に現職の仁科洋一氏が当選し再選
- 21日 山形県など12県で構成する「地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会」が、web会議を開催 吉村知事は、医師確保という課題の解決に向け、医学部の定員増など医師を増やす取組みを加速させること、都市部から地方に医師を促す仕組みが重要性等について発言し、政府への提言を決議

- 22日 新型コロナにより疲弊した県内企業の事業継続と雇用維持に向けて、金融・雇用・創業応援の3つのワーキングチームを構成 金融のワーキングチームを山形市のあこや会館で初会合
- 22日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、『山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部会議』を開催 「つや姫」の令和2年産作付面積は、約9,800ha、生産量は約5万3千トン、「雪若丸」は3,800ha、生産量約2万2千トンとすることを決定
- 22日 県は、新たな県産種雄牛として「冬景21(ふゆかげ21)」と「美結喜(みゆき)」を選抜したことを発表 「冬景21」は枝肉重量と高級部位として需要が高いロースの大きさを示すロース芯面積が、「美結喜」は4等級以上の割合を示す上物率がそれぞれ本県の歴代種雄牛中で最高成績 山形県農業総合研究センター畜産研究所から精液供給を開始
- 28日 7月27日から29日にかけて、山形県全域において記録的な大雨が発生(令和2年7月豪雨) 大石田町や河北町など最上川本川の9箇所で氾濫 県内25市町村で避難指示又は避難勧告を発令 同日、知事を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、災害対策本部員会議を開催 同日、県内31市町村に災害救助法を適用することを決定
- 29日 吉村知事が、7月27日からの大雨で大きな被害があった県内各地を視察(～8/3、8/5) 7/29河北町、朝日町、大江町 7/30大石田町、舟形町 7/31東根市、村山市 8/1戸沢村、新庄市、大蔵村、大石田町 8/2白鷹町、中山町 8/3庄内町、鶴岡市、三川町 8/5河北町 8/12白鷹町
- 29日 県は、新型コロナ第13回本部員会議を開催し、山形県における新型コロナ対応の目安[注意・警戒レベル]の見直しを決定し、運用を開始
- 30日 県は、陸上自衛隊第6師団に対し、県内の大雨被害に伴い断水が発生した尾花沢市と大石田町における給水支援の災害派遣を要請
- 31日 新型コロナの県内第76例目となる事例が2週間ぶりに確認 県は、新型コロナ対応の目安[注意・警戒レベル]を初めてレベル2【注意】に引き上げ
- 31日 山形県総合政策審議会を県庁で開催 「第4次山形県総合発展計画(実施計画)」令和2年度の推進方向について審議し、新型コロナ対応の視点を反映させた取組み等に意見
- 30日 令和元年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入歳出ともに1.6%増加し、歳入から歳出と繰り越し財源を差し引いた実質収支はこれまでで最も多い約50億円の黒字

8月

- 3日 最上小国川流水型ダムの竣工式を開催 同ダムは平成24年に着工し、令和2年4月から本運用を開始

- 4日 吉村知事は、定例記者会見で、新型コロナに係る検査体制について、1日当たり最大1,000件程度の検査が可能となるよう体制整備を発表。医療体制については、県内8か所の医療機関において最大215床（うち重症者病床25床）確保できるよう合意したことを発表。新型コロナによるいじめや偏見・差別対策として関係機関による対策協議会の立上げを発表。
- 5日 県は、7月27日からの大雨により被災された方々を支援するため、「令和2年7月山形県豪雨災害義援金」の募集を開始。義援金は、市町村を通じて被災者に配分予定。
- 5日 新型コロナ等に関する最上管内選出県議会議員及び市町村長との意見交換会を開催。知事が7月27日からの大雨の被害や新型コロナの影響への対策について、最上管内選出の4県議と、続いて最上地域の8市町村長と意見交換を実施。
- 6日 県、山形大学、山形新聞社は、「SDGs(持続可能な開発目標)」の推進に向けた共同宣言について署名式を開催。SDGsの考え方に基づく山形県の発展に向けて連携。
- 6日 吉村知事は、全国知事会「第1回ゼロカーボン社会構築推進プロジェクトチーム会議」にwebで参加。2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」を宣言。
- 7日 新型コロナ等に関する知事と置賜管内選出県議会議員及び市町村長との意見交換会を開催。知事が、豪雨被害や新型コロナ対策について、置賜管内選出の3県議と、続いて置賜地域の8市町長と意見交換を実施。
- 8日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加。新型コロナに関する臨時交付金の増額等について発言。
- 8日 県内の文化施設等で鑑賞券等を購入する際に割引を行う「やまがたの文化応援キャンペーン」及び県内に活動拠点を置くプロスポーツチームのホームゲームのチケット等の割引等を行う「やまがたプロスポーツ応援キャンペーン」を開始。
- 12日 新型コロナに関する知事と漁業関係者との意見交換会を県庁で開催。吉村知事を座長に県内漁業関係団体の役員など9名が参加し本県水産業の現状や今後の施策等について意見交換。
- 15日 新型コロナに感染し入院していた1名が退院。新型コロナに係る入院者は、県内での感染確認以来、初めて0人に。
- 17日 7月27日からの大雨に関する災害対策本部員会議(第7回)を開催。8月16日現在の被害額を約277億円と報告するとともに、災害見舞金の見直し及び住宅の復旧に係る支援策について発表。
- 17日 新型コロナに関する知事と福祉関係者との意見交換会を県庁で開催。県内福祉関係団体の役員など7名が参加し施設の現状や今後の施策等について意見交換。
- 18日 新型コロナに関する知事と公益社団法人日本青年会議所山形ブロック協議会との意見交換会を県庁で開催。協議会の役員など6名が参加し会員の現状や今後の施策等について意見交換。
- 19日 新型コロナに関する知事と県内製造業者との意見交換会を県庁で開催。山形県工業会及び山形県中小企業団体中央会の役員7名が参加し、会員の現状や今後の施策等について意見交換。

- 19日 農林水産省は、地域の農林水産物・食品のブランドを保護する地理的表示(GI)の対象に「山形ラ・フランス」を登録 GI登録は県内で6件目
- 20日 令和2年度8月補正予算案を県議会に内示 令和2年7月豪雨による被害に対応するための経費について一般会計補正予算額 81億7,800万円を計上
- 20日 新型コロナ等に関する知事と庄内管内の市町長との意見交換会を開催 知事が、豪雨被害や新型コロナ対策について、庄内地域の5市町長と意見交換を実施
- 21日 新型コロナ等に関する知事と庄内管内選出県議会議員との意見交換会を開催 知事が、豪雨被害や新型コロナ対策について、庄内管内選出の7県議と意見交換を実施
- 24日 令和2年度第2回の市町村長会議をWeb会議で開催 令和2年7月豪雨被害への対応や新型コロナ対策について意見交換
- 25日 山形県内で大きな被害が発生した令和2年7月豪雨を含む令和2年5月15日から7月31日までの間の豪雨による災害について、政府が激甚災害の指定を閣議決定
- 25日 新型コロナ等に関する知事と東南村山地域の市町長及び東南村山地域選出県議会議員との意見交換会を開催 知事が、豪雨被害や新型コロナ対策について、東南村山地域の5市町長と、続いて東南村山地域選出の5県議と意見交換を実施
- 25日 新型コロナの影響により学生の就職活動が停滞する中、県内外の学生の就職活動を支援するため、「新型コロナ克服企画第2弾！どこでも合同企業説明会・面談会やまがた」として、8月19日～21日に企業の説明動画配信、25日にWeb面談会を開催 約100社が参加
- 26日 「山形県知恵袋委員会」の委嘱状交付式を県庁と総合支庁をオンラインで中継して実施 委員29名に委嘱状を交付 引き続き各総合支庁において委員会を開催
- 26日 県教育委員会は、「不登校児童生徒の自立支援ネットワーク構築検討会議」の初会合を県庁で開催 児童生徒の自立支援に向けそれぞれの実践活動について情報共有と意見交換を実施
- 27日 新型コロナ等に関する知事と西村山・北村山地域の市町長及び西村山・北村山地域選出県議会議員との意見交換会を開催 知事が、豪雨被害や新型コロナ対策について、西村山・北村山地域の9市町長と、続いて西村山・北村山地域選出の5県議と意見交換を実施
- 28日 県内に活動拠点を置くプロスポーツチームや県内の美術館・博物館等の文化施設を支援するため、クラウドファンディング型ふるさと納税「やまがたプロスポーツ・文化施設応援プロジェクト」を実施
- 29日 酒田港の物流拠点機能の強化に向けて、国と県が平成28年度から高砂ふ頭において工事を進めてきた、酒田港国際ターミナル拡張部の工事が完成し供用を開始 岸壁の延伸に伴いコンテナ船の2隻同時着岸が可能となり、年間取扱可能貨物量が10万TEUまで拡充
- 31日 県議会令和2年8月臨時会が開催

9月

- 1日 県庁で「さくらんぼ県やまがた」情報発信検討部会を開催 部会長から吉村知事に対し提言書「さくらんぼを核とした国内外への情報発信について」を手交

- 2日 吉村知事が、「豪雨災害に関する緊急要望」及び「令和3年度政府の施策等に対する提案」に係る関係府省への要望・提案活動をオンラインで実施 御法川国土交通副大臣に豪雨災害に関する復旧・復興対策に係る政府への緊急要望を実施するとともに、北村地方創生担当大臣及び上野文部科学副大臣に対し県開発推進協議会がまとめた内容を提案
- 2日 知事と在京有識者との県政懇談会を開催 本県とゆかりのある在京有識者7人とWeb会議で、ポストコロナを見据えた県づくりの方向等について意見交換
- 3日 新型コロナ後の本県農林水産業の振興施策等について、幅広く意見交換を行うため、「知事と農林水産関係者有志との意見交換会 in 庄内」を実施 オンライン参加を含め県内の農林水産業関係者17人が参加
- 4日 第4回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を県庁で開催 新型コロナに係る取組みについて意見交換
- 7日 吉村知事が、臨時記者会見で「東北・新潟共同メッセージ～東北・新潟の魅力を再発見する旅に出かけよう～」を発表 併せて、山形県は「県民泊まって元気キャンペーン」について、9月15日から、東北・新潟県民まで利用対象を拡大することを発表
- 7日 県庁で、令和2年度「県いじめ問題対策連絡協議会」を開催 令和元年度のいじめに関する調査結果で、認知件数が過去最多の12,758件と発表
- 8日 山形・福島・新潟3県知事会議を福島県南相馬市で開催 新型コロナにより落ち込んだ経済対策として各県が県民に限定している観光キャンペーンを3県間で相互利用することで合意 また、「三県観光連携促進会議(仮称)」の設置方針や、防災・減災対策の推進などについて政府への要望を行うことで一致
- 10日 県庁で「やまがた森林ノミクス県民会議」を開催 県林業公社と県みどり推進機構の組織統合の方針について発表
- 10日 山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」(山形市)において令和2年度拝礼式を実施
- 11日 令和2年度9月補正予算案を県議会に内示 令和2年7月豪雨被害への対応、新型コロナへの対応、喫緊の課題への対応等について一般会計補正予算額321億1,900万円を計上 8月・9月補正予算総額402億9,700万円は、8月・9月補正予算総額としては過去最大規模の補正
- 14日 パレスグランデール(山形市)で、「山形県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会」「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」の理事会を開催 奥羽新幹線実現足がかりとなる福島一米沢間のトンネル整備の早期事業化などを掲げた要望活動趣旨を採択
- 14日 各市町村の単位民生委員児童委員協議会会長と知事との懇談会をホテルキャッスル(山形市)において開催 民生委員・児童委員の実践活動や活動上の課題について意見交換を実施
- 15日 国、県、市町村などで構成する最上川流域治水協議会を発足 初めての会合を県庁でWeb会議で開催 最上川流域全体で取り組む持続可能な流域治水に転換し、最上川流域治水プロジェクトを策定する方針
- 16日 新型コロナによるいじめや偏見、差別問題に対するサポート体制を構築するため、第1回新型コロナによるいじめ・偏見・差別問題対策協議会を県庁で開催

- 16日 山形県文化財保護審議会は、「笹野観音堂」(米沢市)の1件を県有形文化財にするよう答申 県天然記念物の「臥竜のマツ」(村山市)を指定解除にするよう答申 県指定文化財の総数は529件のまま
- 17日 「つや姫」の全国トップブランド評価の更なる向上と、デビュー3年目を迎える「雪若丸」のPRのため、吉村知事、つや姫レディ、チーム雪若丸のメンバーらが農業総合研究センター(山形市)で「つや姫」と「雪若丸」の稲刈りを実施
- 18日 県議会9月定例会が開会(～10/9)
- 23日 「Yamagata 幸せデジタル化」有識者会議の初会合を開催 9人の有識者がWeb会議で参加 「Yamagata 幸せデジタル化構想(案)」について意見交換
- 23日 「出羽百観音」プロジェクトチーム会議の初会合を遊学館で開催 県内各三十三観音札所の代表のほか、観光、自治体の関係者など22人が出席 出羽百観音プロジェクト推進方針・事業展開方向について意見交換
- 25日 県は、開学に向けて準備を進めている東北初の農林業の専門職大学の名称について、「東北農林専門職大学」(仮称)と発表 (名称は文部科学省の認可後に正式決定)
- 25日 庄内浜ブランド創出協議会で検討した結果、令和元年に誕生した県産ズワイガニ「庄内北前ガニ」の認定基準について、従来の基準によるもの(1kg以上、幅13cm以上)を「庄内北前ガニ 特選」とし、700g以上を「庄内北前ガニ」とすることを発表
- 26日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 新型コロナに関する臨時交付金の増額等について発言

10月

- 1日 大型観光キャンペーン「新潟県・庄内エリアポストデスティネーションキャンペーン(DC)」が10月1日から開幕 「日本海 美食旅(ガストロミー)」をテーマに新潟県・庄内エリアの両地域に共通する「食」「酒」の魅力を中心に、キャンペーンを12月までの3か月間にわたり開催
- 2日 新型コロナの影響が長引く中、労働者の現状等について、知事と連合山形との意見交換会を開催 県内各労働組合の関係者8人と意見交換
- 2日 天童市で山形県「ラ・フランス」振興協議会を開催 今年8月に地理的表示(GI)に登録された「山形ラ・フランス」の販売開始基準日を10月29日と決定
- 5日 令和2年度9月補正予算案について県議会に追加提案 インフルエンザワクチン接種費用の助成に係る経費等について一般会計総額9億2,700万円
- 6日 白鷹町長に佐藤誠七氏が無投票で5選
- 6日 地域活性化等に貢献する活動を行っている若者6人を「やまがた若者応援大使」に任命 県庁で任命式を行い、知事から委嘱状を交付 同日、知事と若者団体との意見交換会を開催 若者団体のメンバー3人と意見交換
- 6日 地域活動の実践者6人を「やまがた若者応援大使」に任命 県庁で任命式を行い、知事から委嘱状を交付 同日、知事と若者団体との意見交換会を開催 若者団体のメンバー3人と「子育て中の女性によるコミュニティ活動」について意見交換

- 8日 「やまがた森林ノミクス」の取組みや新型コロナ影響下での林業・木材産業の現状や課題等について、林業・木材産業関係団体との意見交換会を実施
- 12日 県や県内市町村が組織する「ふるさと山形移住・定住推進センター」は、センターの愛称を「くらすべ山形」に決定したことを発表
- 12日 **県の公式ホームページをリニューアルして公開開始 事業者向け情報や「山形ものがたり」等のコンテンツの充実を図り、スマートフォンからの閲覧にも最適化 全面リニューアルは14年ぶり**
- 14日 酒田市民会館「希望ホール」(酒田市)において令和2年度山形県戦没者追悼式を実施
- 15日 渋谷ストリーム(東京都渋谷区)で、「雪若丸」の新CM発表会を開催 デビュー以来3年連続でイメージキャラクターをつとめる俳優の田中圭さんが登場しPR 関東圏や関西圏、中京圏及び県内で新CM放映を開始
- 16日 県庁で令和2年度農林水産業元気再生戦略推進会議を開催 今年度で最終年度となる「第3次農林水産業元気再生戦略(平成29年3月)」の進捗が報告されるとともに、来年度以降の次期戦略の取組内容について意見交換
- 16日 「山形県林業公社」と「山形県みどり推進機構」は、令和3年度からの両組織の合併について調印式を実施
- 19日 新型コロナに関する知事と県身体障害者福祉協会との意見交換会を実施 吉村知事と、協会役員10名が出席
- 19日 新型コロナに関する知事と県芸術文化協会との意見交換会を実施 吉村知事と、協会執行部6名が出席
- 20日 介護施設や障害者支援施設等で新型コロナの感染が発生しても必要なサービスを提供するため、職員相互応援ネットワークを構築
- 22日 県は、新型コロナの影響により売上減少が続く飲食店・小売店・生活関連サービスの消費応援を図るため、県民限定の「山形県プレミアム付きクーポン券」を山形市を皮切りに販売開始
- 22日 新型コロナに関する知事と山形県老人クラブ連合会との意見交換会を実施 吉村知事と老人クラブ役員等9名が出席
- 22日 第5回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を県庁で開催 新型コロナに係る取組みについて意見交換
- 22日 令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表 県内の小中学校・高等学校・特別支援学校で計12,943件のいじめが認知され、2年連続で最多を更新
- 23日 令和2年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰の表彰式を県庁で開催 功労者として2個人が、チャレンジ賞として1団体がそれぞれ受賞
- 24日 飯豊町長に後藤幸平氏が無投票で4選
- 27日 知事と地域おこし協力隊との意見交換会を実施 吉村知事と県内各市町村の隊員6名と意見交換
- 27日 県と日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会は、災害ボランティア活動の支援に関する相互連携協定を締結 県庁で吉村知事と奥山会長が締結書に署名

- 27日 令和2年度(令和元年6月から令和2年5月末まで)の新規就農者数が、昭和60年の調査開始以来、過去最多を更新する353人となったことを発表 前回調査を5人上回り、5年連続で東北最多
- 28日 知事と海外県人会との意見交換会を実施 吉村知事がオンラインで、ブラジル、ペルー、北米南カルフォルニアの各県人会役員等と意見交換
- 29日 福島市内で「北海道東北地方知事会」を開催 吉村知事をはじめ北海道東北各県・新潟県の知事が出席 東日本大震災からの復興、新型コロナ対策の充実・強化の2テーマで意見交換 さらに国への提言として、吉村知事から総合的な少子化対策と女性の活躍の推進、広域交通ネットワークの整備促進を提起したほか計12項目の提言を採択
- 30日 ボランティアで仲人活動を行う「やまがた縁結びたい」で、一定数の成婚実績があった6個人に吉村知事から感謝状を贈呈

11月

- 3日 齋藤茂吉文化賞(3名、1団体)、山形県産業賞(2名、1団体)及び山形県科学技術賞(1名)の贈呈式を合同で開催(山形市・文翔館)
- 3日 坂本内閣府特命大臣(地方創生)が視察のため来県 農業総合研究センター園芸農業研究所(寒河江市)や工業技術センター(山形市)等を視察後、吉村知事と意見交換
- 4日 県庁で総合クマ対策推進チーム会議を開催 県内でクマの出没が相次いでいることを受けて、危険度に応じて「警報」「注意報」「注意喚起」の三段階の警戒対応レベルを設定
- 5日 全国知事会議に吉村知事がWeb会議で参加 政府の観光支援策「GoToトラベル」や雇用調整助成金の特例措置の延長等について発言
- 6日 「令和2年度卓越した技能者の表彰(現代の名工)」「厚生労働大臣表彰」が発表され、本県から2名が受賞決定
- 8日 **主要地方道鶴岡羽黒線「羽黒山バイパス」が全線開通 羽黒山神路大橋を含む全線(延長3.2Km)が供用開始 吉村知事、皆川鶴岡市長など関係者が出席して開通式を開催**
- 9日 新型コロナに関する知事と県内NPO法人との意見交換会を実施 吉村知事と県内6団体が出席
- 9日 山形県の応援ソング「Stranger to the city」を歌う「Ku-Wa de MOMPE(くわとモンペ)(石橋貴明氏、マッコイ斎藤氏)」が吉村知事を表敬訪問
- 9日 日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会(会長:金澤山形県議会議長)が、鶴岡市内で事業説明・現地見学会を開催
- 10日 「令和2年秋の叙勲・褒章」の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲26名、褒章6名、危険業務従事者叙勲8名が受章

- 10日 「山形県新型コロナ安心お知らせシステム」の運用を開始 無料通信アプリを活用し、登録した飲食店や施設等で感染者が確認された場合、利用者に通知
- 12日 第5回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を県庁で開催 新型コロナの現在の感染状況や年末年始の過ごし方等について意見交換
- 12日 令和2年人事委員会勧告(月例給は7年ぶりの据え置き、期末勤勉手当は10年ぶりの引き下げ)
- 16日 主要地方道大江西川線「貫見バイパス」が部分開通(460m 区間) 吉村知事など関係者が出席して開通式を開催
- 17日 県庁で、「山形県いじめ問題審議会」を開催 「山形県いじめ防止基本方針」に基づくいじめの防止等のための対策について協議
- 18日 県庁で第10回山形県総合教育会議を開催 ICTを活用した教育の充実について意見交換
- 18日 「知事と若者の地域創生ミーティング」を大石田町町民交流センターで開催 (「知事と若者の地方創生ミーティング」は、1/8 から 11/18 まで計 12 回実施)
- 20日 国の文化審議会は、山居倉庫(酒田市)を国指定史跡に登録するよう答申 県内の国指定史跡は 30 件目
- 21日 「女性首長によるびじょんネットワーク」第2回会議がオンラインで開催 小池東京都知事と吉村山形県知事が共同座長となり、女性活躍推進に向けて全国の女性首長・女性経営者と意見交換
- 22日 天童市長に山本信治氏が無投票で4選
- 23日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 政府の観光支援策「GoTo トラベル」や飲食業界の支援事業「Go To EAT」について、都道府県の意向が反映されるよう柔軟な運用等について発言
- 24日 県庁で「山形県デジタル化推進本部会議」を開催 「Yamagata 幸せデジタル化構想」の中間とりまとめ等について意見交換
- 24日 朝日町長に鈴木浩幸氏が無投票で5選
- 25日 県議会令和2年 11 月臨時会が開催
- 25日 新型コロナの県内第 110 例目となる感染事例を確認 11 月 25 日以降、1 月 12 日の第 435 例目まで 49 日連続して感染を発表
- 26日 吉村知事は、「山形県における新型コロナ対応の目安」をレベル3【警戒】に引き上げたことを定例記者会見で発表 県独自の警戒レベルを設定して以来、レベル3となるのは初めて
- 26日 7 月 27 日からの大雨に係る本県の被害総額について約 432 億円と発表
- 26日 政府の飲食店等支援事業「Go To EAT」の山形県内のプレミアム付き食事券の第1弾が発売及び利用開始 政府の委託を受けたフィデア情報総研が事業を実施し、合計で 100 万冊を販売
- 26日 県庁で、令和2年度「里の名水・やまがた百選」の選定書交付式を開催 県内 6 市町村の湧水計 7 か所を新たに選定し、代表者に知事から選定書を交付 選定された湧水は今回を含めて合計 60 か所

- 27日 若年女性の県内就職・定着促進に向けた取組みを推進するため、「若年女性県内就職・定着促進協議会」を新たに設置 パレスグランデール(山形市)で、県内各地の産業、労働、教育分野などから14人が委員となり初会合を開催
- 27日 山形グランドホテル(山形市)で令和2年度山形県教育功労者表彰式を開催 教育行政、学校教育、体育・スポーツの3分野で12人を表彰

12月

- 1日 県議会12月定例会が開会(～12/18)
- 1日 令和3年度当初予算の要求概要を公表 一般会計の予算要求規模6,997億円(前年度当初予算比14.1%増)
- 1日 県庁で令和2年度山形県商工観光功労者表彰の表彰式を開催 商工観光事業に精励し、商工業の振興及び地域経済の活性化に貢献した方を表彰し、その功績を顕彰するもので、2年度は4名が受賞
- 2日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、令和2年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞表彰式を開催 大高根農場記念山形県農業賞は5名、2団体、川村造林記念山形県林業賞は1名、1団体、山形県水産業賞は1名、1団体が、それぞれ受賞
- 6日 主要地方道長井白鷹線「白鷹大橋」の架け替え工事が完成し開通 吉村知事など関係者が出席して開通式を開催
- 11日 **県は、新型コロナ第17回本部員会議を開催し、「山形県における新型コロナ対応の目安」をレベル4【特別警戒】に引き上げること決定 県独自の警戒レベルを設定して以来、レベル4となるのは初めて**
- 11日 県議会は、県立朝日学園の児童・生徒の皆さんを招待して議場演奏会を開催 県民に身近な県議会づくりの一環として、山形交響楽団による本会議場での演奏、会議の傍聴等を実施
- 12日 山形県総合文化芸術館(山形魅力発信モール)の別棟店舗である県産酒・クラフトショップ「0035 gather」及びレストラン「Al-ché-cciano Con cert」が開店 前日11日には、吉村知事と関係者によるテープカットなど全店オープン記念のセレモニーを開催
- 13日 **日本海東北自動車道「酒田みなとIC～遊佐比子IC」間5.5kmが開通 吉村知事、庄内地域の首長、県選出国會議員など関係者が出席して開通式を開催 高速道路が初めて遊佐町まで延伸**
- 13日 赤羽国土交通大臣が視察のため山形県を訪問 酒田市のレストラン「ル・ポットフー」において、吉村知事、皆川鶴岡市長及び丸山酒田市長らと意見交換を実施
- 13日 寒河江市長に佐藤洋樹氏が無投票で4選
- 14日 令和2年度12月補正予算案について県議会に追加提案 厳しい経営状況にある夜間営業の飲食業等への県独自の給付金等に係る経費について一般会計総額8億1,700万円
- 14日 山形大学医学部東日本重粒子センター(山形市)が完成し、同センターで記念式典を開催 吉村知事らが出席 重粒子線治療施設の整備は北海道・東北地方で初

- 17日 知事と県人会との意見交換会を実施 吉村知事がオンラインで、東京、関西、東海の各県人会役員等と意見交換
- 18日 県は、大雪に係る関係部局長会議を開催 12月18日からの大雪に係る被害状況や対応について情報を共有
- 18日 第6回新型コロナウイルス感染症対策に関する知事と医療専門家との意見交換会を県庁で開催 新型コロナ感染状況を受けて、年末年始の感染防止対策や各種キャンペーン事業等について意見交換
- 20日 県は、新型コロナ第18回本部員会議を開催し、「県民泊まって元気キャンペーン」「県民泊まって応援キャンペーン」「『バス・タク旅』やまがた巡り事業」の年末年始期間の一時停止及び利用期間の延長、「Go To EAT」の利用を控える呼び掛けなどの年末年始の対応を決定
- 20日 全国知事会「新型コロナ緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 「オンライン帰省」を推奨するため、政府が通信事業者に年末年始の通信料割引を求めること等について発言
- 21日 令和3年度政府予算案等が閣議決定 これを受け吉村知事は「今回の政府予算案については、これまでに本県が行ってきた政府への提案や、全国知事会を通した要請の内容を概ね受け止めていただいたものと捉えております」とコメント
- 22日 山形県医師会、山形大学医学部、山形県病院協議会は、連名で「やまがた医療緊急事態」を宣言 県政記者室で記者会見し、新型コロナで逼迫する病院の現状を踏まえ、県民に年末年始の飲酒を伴う会合や帰省の自粛を要請
- 22日 第40回全国障害者技能競技大会の縫製種目で金賞を獲得した社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会山形県リハビリセンターの板垣美穂さんのほか、第58回技能五輪全国大会で入賞した選手らが県庁を訪れ、知事に大会の成果を報告
- 24日 第6回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」をWeb会議で開催 新型コロナに係る取組みについて意見交換
- 24日 「”コロナ差別ノー！宣言”県民運動」キックオフイベントを県庁で開催 感染者等への差別を行わない決意を表明するとともに、医療従事者や福祉サービス従事者等に感謝の思いを伝える県民運動を展開
- 24日 吉村知事が、社会福祉功労者に対する表彰状の授与及び感謝状の贈呈等を実施 「第70回山形県・県民福祉大会」が中止になったことに伴い、県庁で授与式を開催
- 25日 吉村知事が、12月14日からの大雪で被害があった東根市のさくらんぼ園を視察し農作物等被害への支援策として、山形県農林水産物等災害対策事業などを実施することを発表
- 25日 県は、鶴岡市内の養豚場で家畜伝染病「豚熱」が確認されたと発表 養豚場での豚熱の感染確認は、東北では初めて、全国では10件目 県は、同日、豚熱対策本部を設置し初会合を開催 その後、防疫措置として、発生確認の24時間以内となる翌26日までに発生農場の全頭にあたる1,250頭を殺処分し、同72時間以内となる28日までに埋却処分を完了

- 29日 吉村知事は、臨時の記者会見を開催し、庄内地域における宿泊療養施設を確保したことを発表。また、都道府県では初めてとなる「PCR 自主検査センター(仮称)」を年度内に設置する方針を発表。
- 31日 県内における新型コロナの確認事例について、3月31日の第1例確認以降12月31日発表まで、累計第387例目までの感染を確認。新型コロナ関連の死亡事例は累計7人となった。

作成 令和3年3月30日
山形県総務部広報広聴推進課
山形市松波二丁目8番1号
電話番号 023(630)2088